

令和6年度事業報告

I 事業報告の概要

令和6年4月1日から孤独・孤立対策推進法が施行されるなど、本市においても孤独死、社会的孤立などの高齢者に関わる問題や、障がい者、児童への虐待、貧困など、多様化・複雑化する福祉課題に直面している。

また、生産年齢人口の減少による福祉の担い手の不足、会費や寄付金など自主財源の減少などの福祉サービスを提供する上での課題への対応も求められている。

こうした状況のもと、本会では「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」を基本理念とした「第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」に基づき、行政をはじめ、地域住民や関係機関との緊密な連携を図りながら、地域における福祉課題解決のために様々な事業に取り組んだ。

また、中期経営計画となる「第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画」に基づき、法人運営、地域福祉、生活支援の各部門により各種事業に取り組んだ。

令和6年度は、次の5つの重点項目を基盤に据え、市と連携し諸事業を以下のとおり展開した。

II 重点項目

1 第三次防府市地域福祉活動計画の推進

「ひとづくり」・「環境づくり」・「しくみづくり」の着実な推進

第三次地域福祉活動計画については、地域福祉推進のための取組として、5年間の実施目標計画の内、単年度目標に基づき事業を遂行した。

なお、外部委員で構成する防府市地域福祉推進協議会が行う実施目標の達成度評価により、事業の進捗状況等の確認を行った。

2 第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

法人運営部門・地域福祉部門・生活支援部門の着実な推進

第二次発展・強化計画については、地域福祉を推進する中核的な団体として、本会の使命や、経営理念、基本方針を明確にした上で、さらなる組織体制の強化や継続的に発展するための取組として、5年間の実施目標計画の内、単年度目標に基づき事業を遂行した。

なお、目標達成については、自己評価に基づき、理事会・評議員会で報告した。

3 小地域福祉活動事業の展開強化

地区社会福祉協議会の支援、小地域福祉活動の強化

研修会や会長会議、情報交換会を開催するなど地区社会福祉協議会への支援を実施した。

また、職員及び講師の派遣や講習会の開催などの「ふれあい・いきいきサロン」への活動支援や多世代地域交流拠点としての子ども食堂の活動支援などの小地域福祉活動の強化に取り組んだ。

4 地域における総合相談・生活支援体制の強化、確立

防府市自立相談支援センターの機能充実、防府市成年後見センターの運営

生活保護に至る前の段階の自立支援として就労支援や食糧支援を行うなど自立相談支援センターの機能充実を図った。

また、個人向け「成年後見利用促進セミナー」の開催などの周知活動により、日常生活自立支援事業などの利用促進を図るなど防府市成年後見センター（中核機関）の運営を行った。

5 経営管理（ガバナンス）の強化と経営の透明性の確保

事務所移転プロジェクト、組織体制の整備、人事管理の適正化

本会の事務所を防府市文化福祉会館から市役所新庁舎へ移転したことにより、これまで以上に行政との連携が円滑に行われることで、サービスの向上につながった。

また、理事会及び評議員会を開催し、事業計画・資金収支予算や事業報告・資金収支決算、諸規程等を審議するとともに、防府市から事務局長を迎えるなどの組織体制の整備を行った

さらに、個人の目標設定や勤務状況を評価する人事評価制度の活用により、労務管理の適正化を図るとともに、職員研修計画に基づき山口県社会福祉協議会が実施する階層別研修などへ職員を参加させるなど人材育成に取り組み、人事管理の適正化を図った。

Ⅲ 具体的事業

【法人運営部門】

1 法人運営事業

102,301,430 円

本会を円滑に運営していくために、次の事業を実施した。

(1) 第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

事業報告	評 価
5 か年計画の4 年目にあたり、法人運営、地域福祉、生活支援の各部門において、組織体制の整備や地区社会福祉協議会の強化、生活支援活動の強化などの項目に取り組んだ。	第二次発展・強化計画を単年度事業計画に具体的に反映させることで、組織の持続的な発展につながった。

(2) 法人運営事業

事業報告（※【】：前年度実績）				評 価
① 事務所移転 備品や書類等の整理及び諸手続を行い、事務所を移転完了した。				概ね計画通りに事業を実施し、組織体制の整備及び適正な法人運営を行うことができた。 会員数については、団体、特別会員が減少傾向にあり、本会の活動に対する周知が不足していた。 役職員の研修については、積極的に実施し役職員の資質向上に努め、人事管理の適正化を図ることができた。
② 組織体制の整備 ア 会員の増強				
会員別		対象数	会費総額	
一般会員		全世帯	12,624,900 円 【12,610,800 円】	
団 体 会 員	地区社協	15 団体 【15 団体】	45,000 円 【45,000 円】	
	福祉団体	25 団体 【27 団体】	50,000 円 【54,000 円】	
	施設団体	25 団体 【25 団体】	75,000 円 【75,000 円】	
	連合団体	6 団体 【6 団体】	30,000 円 【30,000 円】	
特別会員		5,171 口 【5,494 口】	2,585,500 円 【2,747,000 円】	
賛助会員		18 口 【16 口】	90,000 円 【80,000 円】	
合 計			15,500,400 円 【15,641,800 円】	
イ 評議員会及び役員会等の開催 三役会				

12 回開催して、事業や予算の執行状況等について協議した。

理事会

6 月 7 日

- 報告第 1 号 会長及び常務理事の職務執行状況について
- 議案第 1 号 令和 5 年度事業報告について
- 議案第 2 号 令和 5 年度資金収支決算について
- 監査報告
- 議案第 3 号 令和 6 年度資金収支補正予算（第 1 回）について
- 議案第 4 号 役員等損害賠償責任保険契約の締結について
- 議案第 5 号 地区社会福祉協議会設置規程中改正について
- 議案第 6 号 理事候補者の提案について
- 議案第 7 号 評議員候補者の提案について
- 議案第 8 号 評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第 9 号 定時評議員会の招集について
- 議案第 10 号 評議員選任・解任委員会の招集について

10 月 30 日

- 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務執行状況について
- 報告第 3 号 令和 6 年度事業実施状況及び予算執行状況について
- 議案第 11 号 令和 6 年度資金収支補正予算（第 2 回）について
- 議案第 12 号 事務所の移転について
- 議案第 13 号 定款の変更について
- 議案第 14 号 事務局組織規程中改正について
- 議案第 15 号 職員就業規則中改正について
- 議案第 16 号 嘱託職員就業規則中改正について
- 議案第 17 号 臨時職員等就業規則中改正について
- 議案第 18 号 防府市自立相談支援センター設置・運営規程中改正について
- 議案第 19 号 防府市成年後見センター設置・運営規程中改正について
- 議案第 20 号 評議員会の招集について

3 月 11 日

- 報告第 4 号 会長及び常務理事の職務執行状況について
- 議案第 21 号 令和 6 年度資金収支補正予算（第 3 回）について
- 議案第 22 号 令和 7 年度事業計画について

議案第 23 号	令和 7 年度資金収支予算について
議案第 24 号	定款の変更について
議案第 25 号	役員等の報酬及び費用弁償規程中改正について
議案第 26 号	事務局組織規程中改正について
議案第 27 号	経理規程中改正について
議案第 28 号	職員の育児・介護休業等に関する規則中改正について
議案第 29 号	職員給与規程中改正について(1)
議案第 30 号	職員給与規程中改正について(2)
議案第 31 号	嘱託職員等給与規程中改正について
議案第 32 号	定年退職者の継続雇用に関する規程中改正について
議案第 33 号	防府市自立相談支援センター設置・運営規程中改正について
議案第 34 号	評議員候補者の提案について
議案第 35 号	評議員選任・解任委員会の招集について
議案第 36 号	評議員会の招集について
評議員会	
6 月 27 日（定時評議員会）	
報告第 1 号	評議員選任・解任委員会について
議案第 1 号	令和 5 年度事業報告について
議案第 2 号	令和 5 年度資金収支決算について
監査報告	
議案第 3 号	令和 6 年度資金収支補正予算（第 1 回）について
議案第 4 号	理事の選任について
11 月 21 日	
報告第 2 号	令和 6 年度事業実施状況及び予算執行状況について
議案第 5 号	令和 6 年度資金収支補正予算（第 2 回）について
議案第 6 号	定款の変更について
3 月 27 日	
報告第 3 号	評議員選任・解任委員会について
議案第 7 号	令和 6 年度資金収支補正予算（第 3 回）について
議案第 8 号	令和 7 年度事業計画について

議案第 9 号 令和 7 年度資金収支予算について 議案第 10 号 定款の変更について 議案第 11 号 役員等の報酬及び費用弁償規程中改正について 監査会 5 月 15 日・16 日 令和 5 年度業務執行状況及び財産状況の監査 評議員選任・解任委員会 6 月 18 日 評議員の選任 1 名 3 月 17 日 評議員の選任 1 名 ウ 役職員等の研修 8 月 29 日・30 日 市町社協トップミーティング及び役員等研修会 (台風接近のため中止) 10 月 6 日 市町社協組織強化研修会 山口市 参加人員 1 名 2 月 25 日 市町社協会長・常務理事・事務局長会議 山口市 参加人員 3 名 エ 諸規程等の整備 規程等の改正 ・地区社会福祉協議会設置規程 ・事務局組織規程 ・職員就業規則 ・嘱託職員就業規則 ・臨時職員等就業規則 ・防府市自立相談支援センター設置・運営規程 ・防府市成年後見センター設置・運営規程 ・役員等の報酬及び費用弁償規程 ・経理規程 ・職員の育児・介護休業等に関する規則 ・職員給与規程 ・嘱託職員等給与規程 ・定年退職者の継続雇用に関する規程 オ 組織運営の強化	
---	--

事業を効果的、効率的に推進するため、適正な事務局体制の整備を行った。 カ 広報啓発活動 ・ 広報紙「社協だより防府」の発行（全戸配布） 発行回数 年 6 回（偶数月の 1 日） 発行部数 49,500 部/回 ・ ホームページ及び SNS の活用 ホームページに事業内容及び活動報告等の情報を掲載するとともに、自治会活動アプリ「結ネット」を活用し、市内の自治会長への情報伝達を行った。 ホームページアクセス数 45,831 回 キ 非常時体制の強化 事業継続計画（BCP）に基づき、有事の際の対応について職員間で認識の統一を図った。 また、事務所移転に伴い、災害ボランティアセンターの配置等について市の担当部署と協議を実施した。 ③ 財務状況の適正化 ア 会計及び財務管理等の適正な実施 公共性の高い社会福祉法人として、透明性の確保と効果的・効率的な経営を目指すため、経理規程に則り会計処理や金銭管理について、内部牽制を機能させるとともに、顧問税理士による会計監査及び決算・申告業務を実施し、適正な処理を行った。 イ 新規事業等の活用 山口県社会福祉協議会補助事業等の情報収集に努めたが、活用できる事業はなかった。 ④ 人事管理の適正化 ア 労務管理の適正化 安心して働ける職場環境づくりのために、労務関連の法律を遵守できるよう調整した。 また、人事評価制度の活用により、業務評価や意識姿勢評価・能力評価を行い、職員一人ひとりの能力向上を目指した。 イ 職員の育成 ・ 職員研修計画に基づき、職員のスキルアップと法人の持続的な成長や発展につながるよう、階層別研修及び専門研修に職員を	
---	--

派遣した。

階層別研修	日数	人数
社会福祉協議会新任研修（山口市）	2	2
社会福祉協議会リーダー研修（山口市）	2	2
社会福祉協議会管理職研修（山口市）	2	2

専門研修	日数	人数
市町社協組織強化研修会（山口市）	2	3
赤い羽根全国ミーティング（長野県）	2	1
福祉サービス苦情解決制度研修会（山口市）	1	1

- ・社会福祉士受験資格の取得を目指す学生の実習受入
8月19日～9月25日 受入人員 3名

⑤ 表彰等に関する事業

社会福祉の発展に貢献された方及び団体に対し、表彰を行った。

第42回防府市総合社会福祉大会

9月 7日 三友サルビアホール（防府市公会堂）

防府市社会福祉協議会会長表彰

- ・社会福祉事業一般功労者 45名
- ・社会福祉事業協助者 3名
- ・社会福祉事業協助団体 1団体

第74回山口県総合社会福祉大会

10月31日 長門市

山口県知事表彰

- ・共同募金運動奉仕者 1名

山口県社会福祉協議会会長表彰

- ・社会福祉事業功労者 3名
- ・社会福祉事業協助者 1名

山口県共同募金会長表彰

- ・共同募金運動奉仕者 2名

山口県民生委員児童委員協議会表彰

- ・会長表彰 2名

令和6年度全国社会福祉大会

11月26日 東京都

全社協会長表彰

- ・永年勤続 1名
- ・民生委員・児童委員功労者 3名

全国民生委員児童委員連合会長表彰

・永年勤続民生委員・児童委員 23 名 社会福祉功労者厚生労働大臣表彰 ・共同募金運動奉仕者 1 名 中央共同募金会長表彰 ・奉仕功労者 1 名	
⑥ 地区社協活動支援への助成 特別会費を財源として地区社会福祉協議会が実施する在宅福祉強化事業（給食サービス、友愛訪問サービス、家事援助サービス等）に助成した。また、特別会費の目標口数超過の会費納入分を、地区社会福祉協議会の自主的な活動費として助成した。	

(3) 福祉センター運営事業

事業報告（※【】：前年度実績）			評 価																	
① 福祉センターの利用 貸館による福祉団体・ボランティア活動の場を提供した。 防府福祉センター利用状況（4月～11月）			防府市文化福祉会館閉館までの間、福祉団体やボランティア団体に活動拠点を提供することができた。 車いす、杖等の貸出については、日常生活に困難が生じた方に対し、一時的な生活の不便を解消する一助となることができた。																	
場所	件数	人数																		
第1 教養娯楽室 （2階17号室）	65 件 【128 件】	721 名 【1,854 名】																		
第2 研修室 （2階18号室）	66 件 【140 件】	371 名 【1,011 名】																		
福祉団体・ボランティア団体室（3階7号室）	231 件 【341 件】	1,197 名 【1,758 名】																		
第3 研修室 （3階8号室）	190 件 【308 件】	1,574 名 【2,594 名】																		
会議室 （3階9号室）	238 件 【330 件】	2,171 名 【6,500 名】																		
合 計	790 件 【1,247 件】	6,034 名 【13,998 名】																		
② 福祉機器の貸出 貸出状況																				
<table><tr><th>貸出物品</th><th>件数</th></tr><tr><td>車いす</td><td>183 件 【281 件】</td></tr><tr><td>松葉杖・杖</td><td>32 件 【 32 件】</td></tr><tr><td>高齢者擬似体験セット</td><td>4 件 【 3 件】</td></tr><tr><td>点字器</td><td>11 件 【 11 件】</td></tr><tr><td>白杖</td><td>1 件 【 1 件】</td></tr><tr><td>アイマスク</td><td>16 件 【 12 件】</td></tr><tr><td>妊婦体験セット</td><td>2 件 【 1 件】</td></tr><tr><td>計</td><td>249 件 【341 件】</td></tr></table>				貸出物品	件数	車いす	183 件 【281 件】	松葉杖・杖	32 件 【 32 件】	高齢者擬似体験セット	4 件 【 3 件】	点字器	11 件 【 11 件】	白杖	1 件 【 1 件】	アイマスク	16 件 【 12 件】	妊婦体験セット	2 件 【 1 件】	計
貸出物品	件数																			
車いす	183 件 【281 件】																			
松葉杖・杖	32 件 【 32 件】																			
高齢者擬似体験セット	4 件 【 3 件】																			
点字器	11 件 【 11 件】																			
白杖	1 件 【 1 件】																			
アイマスク	16 件 【 12 件】																			
妊婦体験セット	2 件 【 1 件】																			
計	249 件 【341 件】																			

(4) 苦情解決への対応

事業報告	評 価
① 苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員の活用 常時、苦情解決相談窓口を設置し、福祉サービス利用者から寄せられた苦情に対して適切な解決に努めるため、調査と問題解決に向けた取組を行った。	福祉サービス利用者の満足度を高め、利用者個人の権利を擁護することができた。

2 善意銀行事業

140,200 円

地域福祉活動推進事業や児童福祉事業、ボランティアセンター事業等の地域福祉活動に活用するため、善意銀行の啓発、強化の取組を行った。

(1) 善意銀行事業の強化

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
寄付金を確保するため新たな決済方法の研究を行った。 金銭寄付 289 件【340 件】 3,226,206 円【3,760,778 円】	自主財源の充実強化はできなかった。

(2) 善意銀行事業の啓発

事業報告	評 価
社協だよりとホームページに善意銀行について記事掲載を行い、啓発を図った。	年 6 回掲載したが、反響があまりなかった。

(3) 印刷サービスの実施

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
香典返しの寄付者に対し、寄付のお礼はがきを寄付金額に応じて印刷した。 印刷件数 3 件【4 件】	家族葬の増加に伴い香典返しの寄付自体が減少した。

(4) 善意の箱の設置拡充

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
市民が気軽に寄付できる環境をつくるとともに自主財源の確保として、現在の協力店へ引き続き協力を依頼した。 設置総数 71 か所【72 か所】	現金取扱が難しいとの理由により、協力店が減少傾向にある。

(5) 物品寄付の受付・譲渡

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
社協だよりの「お譲りします」に掲載し、希望者に譲渡した。おむつ等の衛生用品については、事務所移転に伴い保管場所の確保が出来ないことから、10 月末を以って受付を終了したが、寄付の申し出に対しては関係団体等を紹介している。 件 数 59 件【47 件】	育児・介護用品を必要な方にお譲りし、SDGs に取り組むことができた。

【地域福祉部門】

1 地域福祉活動推進事業

10,768,942 円

「福祉の輪づくり運動（困ったときにお互いが助け合える組織を地域でつくろう）」を基本とした地域福祉活動を推進するため、地域住民の参加と行政や関係団体等の協力を得て推進組織である各地区社会福祉協議会の活動支援並びに組織の充実強化に努めた。

（１） 防府市地域福祉活動計画の推進

事業報告	評 価
① 第三次防府市地域福祉活動計画の推進 基本目標である「ひとづくり」・「環境づくり」・「しくみづくり」の着実な推進に向け、5 年間の実施目標計画の内、単年度目標に基づき事業を遂行した。 なお、外部委員で構成する本会が行う実施目標の達成度評価により、事業の進捗状況等の確認を行った。 地域福祉推進協議会の開催 7 月 17 日（第 1 回） 市役所 3 階 南北会議室 3 月 25 日（第 2 回） 市役所共用会議室 2A、2B、2C 新 ② 第四次防府市地域福祉活動計画策定に向けた準備 第四次防府市地域福祉活動計画を策定するため、アンケートや地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、自治会等との座談会を実施し、地域のニーズや意見の把握に努めた。	概ね計画通りに事業を実施し、計画の進捗状況を検証しながら実施した。

（２） 地区社会福祉協議会の支援

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
① 地区社会福祉協議会研修会の支援 地域福祉活動計画に基づき開催される地区社会福祉協議会研修会について、研修内容等の相談に応じるなどの開催に向けた支援を行った。 地区研修会 15 か所 参加人員 延べ 780 名 ② 地区社会福祉協議会会長会議等の開催 地区社会福祉協議会との連携強化を図るため、地区社会福祉協議会会長会議を開催した。 4 月 24 日（第 1 回） ・令和 6 年度事業計画・予算について ・令和 6 年度地域福祉系の事業について （敬老の日の事業、ふれあい・いきいきサロン） ・令和 6 年度市社協会費のお願いについて	概ね計画通りに事業を実施し、地区社会福祉協議会の研修会や会議の開催を助言した。 また、福祉員、友愛訪問グループ員の人材確保や育成を実施できた。

・令和6年度地区社協への助成金等について ・情報交換 8月22日（第2回） ・視察 宇部市社会福祉協議会 宇部市社会福祉協議会 事業計画・報告 西浦・大道地区社会福祉協議会の事業紹介 12月18日（第3回） ・令和6年度本会理事会の報告について ・令和6年度本会事業について （敬老の日の事業、歳末たすけあい運動、寝具乾燥事業、ふれあい・いきいきサロンサポート研修会、地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナー、第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画） ・情報交換 2月21日（第4回） ・令和6年度本会事業の報告について （歳末たすけあい運動、ふれあいネットワーク、子ども（地域）食堂、第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画） ・令和7年度市社協会費について ・情報交換 ③ 福祉員及び友愛訪問グループ員活動（友愛訪問活動促進事業）の支援 人員の確保や研修会の開催、ボランティア活動保険に関する手続など、活動に向けた支援を行った。 福祉員 284名【287名】 友愛訪問グループ員 276グループ（674名） 【279グループ（686名）】 在宅ひとり暮らし高齢者 6,083名【5,569名】 ④ 地区社協活動支援への助成 地区社協活動費、事務費、輪づくり運動推進費、小地域ネットワーク事業費、福祉員活動費、友愛訪問グループ活動費を助成した。	
--	--

(3) 小地域福祉活動の強化

事業報告 (※ 【】 : 前年度実績)	評 価
① 地域見守り・支え合い体制強化事業の実施 ア 生活関連事業者や関係団体、住民と連携した見守り活動の仕組みづくりの支援 地区会議において、地域包括支援センターや社会福祉法人等の関係団体に対し、地域で起きている事例について把握すべき事項、支援や情報共有の方法など助言を行うなどの支援を実施した。 イ 医療・福祉との連携による見守り困難事例への体制づくりの支援 高齢者虐待防止ネットワーク会議に参加し、民生委員・児童委員などの見守る人と地域包括支援センターなどの支援機関とが連携協力できるよう助言を行うなど体制づくりの支援を行った。 防府市高齢者虐待防止ネットワーク会議 11月28日 防府市文化福祉会館 ウ 見守り活動等の担い手研修会の開催 「我が事」を意識した「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」の見守りと助け合いが、防府の福祉風土の醸成と地域活動の推進に結びつくようセミナーや会議を開催した。 ・華城地区社協定例 会長部会長等会議 6月4日 華城公民館 参加人員 11名 ・華城地区福祉部長研修会 6月22日 華城公民館 参加人員 25名 ・ChatGPT×Canva 広告戦略セミナー 8月19日 防府市創業・交流センター 参加人員 20名 ・人権教育講演会 9月6日 防府市立小野小学校 参加人員 保護者、3・4・5・6年生児童、教員 ・防府市障害者福祉啓発／ 地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナー 11月25日 ルルサス防府2階 エ 地域で孤立している人を支えるためのネットワークづくり 高齢者実態調査等を用いて把握した地域で孤立している人を支えるため、ふれあい・いきいきサロンやこども食堂等の「場」の紹介や立上げ支援に加え、地域だけでは解決できない事例のアンケートを実施し、講習会において情報共有を図るなどネットワークの強化に取り組んだ。	概ね計画通りに事業を実施し、小地域福祉活動を実施する中核組織（地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会）へ助言や専門機関（地域包括支援センター等）、生活関連事業所（企業ボランティア活動促進モデル事業所等）との連携を調整できた。

オ 地域で孤立している人をなくすための取組支援・情報発信 地区社会福祉協議会会長会議や防府市民生委員児童委員定例理事会などにおいて、福祉員や友愛訪問グループ員と民生委員・児童委員が連携できるよう「ふれあいネットワーク」を紹介した。 ② ふれあい・いきいきサロンの設置及び活動支援 ア ふれあい・いきいきサロン応援ガイドの活用促進 ・設置及び活動状況 サロン設置数 136 か所【130 か所】 職員訪問件数 46 件【39 件】 講師派遣件数 21 件【25 件】 個別相談件数 432 件【486 件】 ・ふれあい・いきいきサロンスタート講習会の開催 参加人員 70 名【78 名】 イ ふれあい・いきいきサロンへの講師派遣及びレクリエーション機材の貸し出し ・グッズ貸出 53 件【34 件】 ③ 在宅ひとり暮らし老人の会の支援 ひとり暮らしの高齢者を対象としたイベントの実施や福祉弁当の配布等、地区ごとに工夫を凝らした取組を支援した。 開催地区 10 地区【8 地区】 参加人員 1,466 名【1,355 名】 ④ 多世代地域交流拠点としての子ども食堂（地域食堂）の活動支援 人手を必要としている子ども食堂を中心に子ども（地域）食堂へのボランティアを派遣した。 派遣先 3 か所【2 か所】 派遣ボランティア数 延べ 82 名【延べ 106 名】	
--	--

（４）地域福祉力の強化

事業報告	評 価
・見守りネットワーク活動の支援 民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員及び自治会福祉部関係者等と連携しながら、地域住民の困りごとを早期に発見し、専門機関や住民活動による支援に結びつくよう調整するなど、小地域での見守り活動及び訪問活動を支援した。 ふれあいネットワーク設置数 217 か所 ・セミナー等の開催	概ね計画通りに事業を実施できた。

国や県の地域共生社会「我が事」を意識し、防府市の「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」につなげていけるよう、全国の事例を確認し、防府の地域連携を再確認し訪問活動につながるようセミナーを開催した。 障害者福祉啓発／地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナー 11月25日 ルルサス防府2階 多目的ホール 参加人員 75名 演 題 「そらいろプロジェクト～すべては子どもたちの笑顔のために～」 講 師 そらいろプロジェクト京都 代表 赤松 隆滋 氏 消費者被害防止ネットワーク連絡協議会全体会議 10月 8日 防府市役所 参加人員 1名 山口県消費者安全確保地域協議会 1月 27日 WEB 会議 参加人員 1名	
---	--

(5) 地域の社会福祉法人・社会福祉施設等との連携・協働

事業報告	評 価
社会福祉法人地域公益活動推進協議会（幸せますふくしネット）は、労務管理研修の開催及びホームページを作成した。	加盟団体の法人概要や実施している公益事業等を発信するとともに相互連携が図れた。

(6) 福祉専門職コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価																												
制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組むコミュニティソーシャルワーカーを2名配置した。 ・CSW活動状況 <table><tr><th>① 相 談 分 類</th><th>件 数</th></tr><tr><td>介護保険・高齢サービスに関すること</td><td>2 件【2 件】</td></tr><tr><td>障害者総合支援・障害サービスに関すること</td><td>0 件【2 件】</td></tr><tr><td>子育て・子どもの教育に関すること</td><td>2 件【1 件】</td></tr><tr><td>地域福祉に関すること</td><td>9 件【18 件】</td></tr><tr><td>健康・医療に関すること</td><td>0 件【2 件】</td></tr><tr><td>福祉制度等に関する連絡調整</td><td>0 件【1 件】</td></tr><tr><td>高齢者、障害者、児童に関する行事等</td><td>2 件【1 件】</td></tr><tr><td>社会資源等に関する連絡調整</td><td>2 件【1 件】</td></tr><tr><td>地域の会議、サロン訪問等</td><td>435 件【486 件】</td></tr><tr><td>機関・組織開催の会議、研修、行事等</td><td>1 件【1 件】</td></tr><tr><td>その他研修会、視察等</td><td>2 件【2 件】</td></tr><tr><td>その他（ボランティア）</td><td>8 件【10 件】</td></tr><tr><td>合 計</td><td>463 件【527 件】</td></tr></table>	① 相 談 分 類	件 数	介護保険・高齢サービスに関すること	2 件【2 件】	障害者総合支援・障害サービスに関すること	0 件【2 件】	子育て・子どもの教育に関すること	2 件【1 件】	地域福祉に関すること	9 件【18 件】	健康・医療に関すること	0 件【2 件】	福祉制度等に関する連絡調整	0 件【1 件】	高齢者、障害者、児童に関する行事等	2 件【1 件】	社会資源等に関する連絡調整	2 件【1 件】	地域の会議、サロン訪問等	435 件【486 件】	機関・組織開催の会議、研修、行事等	1 件【1 件】	その他研修会、視察等	2 件【2 件】	その他（ボランティア）	8 件【10 件】	合 計	463 件【527 件】	CSWの定着が困難で、課題解決やアウトリーチが進展していない。
① 相 談 分 類	件 数																												
介護保険・高齢サービスに関すること	2 件【2 件】																												
障害者総合支援・障害サービスに関すること	0 件【2 件】																												
子育て・子どもの教育に関すること	2 件【1 件】																												
地域福祉に関すること	9 件【18 件】																												
健康・医療に関すること	0 件【2 件】																												
福祉制度等に関する連絡調整	0 件【1 件】																												
高齢者、障害者、児童に関する行事等	2 件【1 件】																												
社会資源等に関する連絡調整	2 件【1 件】																												
地域の会議、サロン訪問等	435 件【486 件】																												
機関・組織開催の会議、研修、行事等	1 件【1 件】																												
その他研修会、視察等	2 件【2 件】																												
その他（ボランティア）	8 件【10 件】																												
合 計	463 件【527 件】																												
※相談分類は複数の項目に重複している場合、各項目にカウント																													

(7) 防府市民生委員児童委員協議会との連携及び支援

事業報告	評 価
・会議支援 防府市民生委員児童委員協議会定例会 12回 地区民生委員児童委員協議会 4回 ・研修支援 民生委員・児童委員の資質向上を図るため、研修会を開催した。 児童福祉部会（6月25日：ほうふっ子の未来にむけて） 障がい者福祉部会（8月20日：改正障害者差別解消法について） 高齢者福祉部会（10月18日：認知症について） ・全国民生委員互助共励事業の実施 会員の死亡、疾病、災害にかかる弔慰金及び見舞金に関する手続を行った。	概ね計画通りに事業を実施し、定例会や会議の連携を強化し、互助事業を実施できた。

(8) 防府市自治会連合会との連携及び自治会福祉部の支援

事業報告	評 価
地区社会福祉協議会が開催する福祉関係者合同研修会等（地区社協役員、福祉員、友愛訪問グループ員、民生委員・児童委員、自治会長、自治会福祉部長、自治会役員、老人クラブ、ボランティア）で、自治会福祉部の状況を確認し連携を図った。 福祉関係者合同研修 15 地区 連合自治会及び自治会福祉部への説明 10 地区	概ね計画通りに事業を実施できた。

新 (9) 防府市文化福祉会館感謝イベントの開催

事業報告	評 価
10 月 26 日 防府市文化福祉会館感謝イベント「～ありがとう文福～」 イベント来場者 450 名	多くの来場者に対し、福祉活動への理解を促すことができた。

2 老人福祉事業

33,916,571 円

高齢者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
① 老人寝具乾燥事業 在宅寝たきり高齢者及びひとり暮らし高齢者（いずれも低所得世帯を対象）が日常生活に使用する布団、毛布等の寝具乾燥を実施し、保健衛生の向上に努めた。 実施期間 7月1日～2月28日 実施世帯 289世帯【286世帯】 実施枚数 507枚【461枚】 〔内訳〕 敷布団 138枚【112枚】 掛布団 233枚【194枚】 毛布 136枚【155枚】 ② 老人スポーツ普及事業 ※熱中症対策のため中止 ③ 三世代交流事業 老人クラブ連合会（12地区）及び社会福祉協議会（2地区）へ三世代交流活動費を助成し活動を支援した。 参加人員 4,489名【5,278名】 ④ 幸せます大学（老人大学校）設置運営事業 高齢者及び向老期の方々に対し、体系的な学習の機会を提供することにより、社会経済の変化への適合と生きがいのある豊かな老後を創造することを目的に講義・実習を実施した。 第22期（前期） 10課程/年 参加延べ人員 250名【478名】 ⑤ 地域住民グループ支援事業 地域住民の自主的な活動として各地区で実施されている「ふれあい・いきいきサロン」等に健康運動指導士・歯科衛生士・管理栄養士及び地域貢献企業を紹介、派遣した。 健康運動指導士 6件 管理栄養士 3件 地域貢献企業 37件 計 46件【39件】	概ね計画通りに受託事業を実施できた。

(2) 防府市からの補助事業の推進

事業報告 (※【】：前年度実績)	評 価
① 総合社会福祉大会事業 福祉関係 6 団体（防府市、防府市社会福祉事業団、防府市障害福祉団体連合会、防府市老人クラブ連合会、防府市民生委員児童委員協議会、防府市社会福祉協議会）の共催で開催した。 9 月 7 日 三友サルビアホール（防府市公会堂） 参加人員 600 名【300 名】 〔内容〕 記念講演 演題「おしゃべりで多様に」 講師 フリーアナウンサー 武田 真一 氏 福祉展 福祉機器展、福祉施設作品展及び即売、福祉相談コーナー	概ね計画通りに事業を実施できた。
② 敬老会助成事業 地区社協や社会福祉施設に対し、敬老会の開催費用等の助成を行った。なお、敬老会を開催しない地区については、対象者へ福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、自治会役員、老人クラブ等）により、商品券や記念品を配付した。	

(3) 高齢者福祉の推進

事業報告	評 価
① 地域包括ケアシステムの構築に向けての支援 見守り活動の担い手からの虐待相談や予防的相談があった場合に、必要な支援ができる機関へつなげることができるよう、高齢者虐待防止ネットワーク会議等に参加し、連携できる体制づくりに取り組んだ。 ・防府市高齢者虐待防止ネットワーク会議 11 月 28 日 防府市文化福祉会館 ・重層的支援体制整備事業研修会 1 月 20 日 山口市	概ね計画通りに事業を実施し、高齢者福祉の推進ができた。
② 認知症高齢者の支援 地区社会福祉協議会と地区民生委員児童委員と協力し、認知症カフェの新設や継続に資するようボランティアスタッフの紹介などの支援を行った。 認知症カフェ 7 か所	

3 障害福祉事業

1,413,487 円

障害者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告	評 価
① 障害者スポーツ交流支援事業 運動を通してともに助け合いながら交流を深めるとともに自立と社会参加の促進を図るため、体育大会を開催した。 第 62 回防府市障害者体育大会の開催 6 月 1 日 防府市文化福祉会館 前庭 参加人員 366 名	概ね計画通りに事業を展開し、適正に受託事業を実施した。
② 障害者レクリエーション推進事業 在宅知的障がい者（児）とその家族を対象に、社会参加及び家族間の交流を図ることを目的として「りんご狩り」を実施した。 10 月 13 日 友清りんご園（山口市徳佐） 参加人員 131 名	
③ 障害者地域参加促進事業 ・視覚障がい者とその家族及びボランティアが交流を通して親睦を深め、社会参加の機会を促進するために開催した。 10 月 13 日 友清りんご園（山口市徳佐） 参加人員 11 名 ・聴覚障がい者の福祉の推進のため、社会生活に係る学習や体験を提供した。 3 月 21 日 防府市役所及び福祉棟 参加人員 20 名	

(2) 防府市障害福祉団体連合会及び障害者福祉団体活動の支援

事業報告	評 価
会員の交流や社会参加の促進を目的に、防府市障害福祉団体連合会が主催する行事の運営を支援した。 防府市ふうせんバレーボール大会 6 月 29 日 ソルトアリーナ防府	概ね計画通りに事業を実施できた。

(3) 精神保健に関する事業の支援

事業報告	評 価
本人及び関係事業所からの相談対応（山口県精神保健福祉センター、山口県山口健康福祉センター 防府支所、夢かれん） 20 件	一度の相談では解決につながりにくく、複数の関係事業所と関わりがあるため、相談者の状況把握に努める必要がある。

4 児童福祉事業

445,062 円

児童の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 「赤ちゃん文庫」事業の推進

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながるよう母子保健推進員の協力を得て生後 2～3 か月児の家庭訪問に際して、絵本を 1 冊贈呈した。 701 名【769 名】	概ね計画通りに事業を実施できた。訪問する母子保健推進員から、心配事相談や関係づくりに役立つと高い評価を得た。

(2) チャイルドシート貸出事業の推進

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
里帰り等で 6 歳未満の幼児を乗せて自動車を運転する必要がある場合に、1 か月を限度に貸し出した。 ・利用人数 253 名【310 名】 ・貸出回数 ベビー用 26 回【42 回】 乳幼児用 259 回【301 回】 学童用 21 回【30 回】 計 306 回【373 回】	概ね計画通りに事業を実施できた。

(3) 小地域見守りネットワーク活動の推進

事業報告	評 価
地域の福祉を面として支援できるよう「ふれあいネットワーク」の人員確保や各地区での研修会の開催、ボランティア活動保険に関する手続などの支援を行った。	概ね計画通りに事業を実施し、見守り活動の担い手を育成できた。

(4) 子どもの居場所づくりの支援

事業報告	評 価
子ども食堂の開設や山口県子ども食堂へ登録手続、ボランティア活動保険やボランティアの派遣など、幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会を通して子どもの居場所づくりを支援した。	概ね計画通りに事業を実施し、居場所づくりで地域福祉基礎組織（地区社会福祉協議会等）との関係を強化できた。

(5) 小学校新入学児童のお祝品贈呈

事業報告	評 価
児童が健やかに育つことを願い、入学準備でお祝い品を贈呈した。 贈 呈 品 クリヤーケース入り連絡帳及び鉛筆 贈 呈 数 1,000 セット	学校、児童、保護者の連携強化に役立っている。

5 ボランティアセンター事業

1,867,337 円

市民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、関係機関及び団体に対して福祉教育等の育成支援を行い、福祉の推進に資するために次の事業を実施した。

(1) あらゆる人の社会参加を支援

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
① ボランティアコーナーの設置 ボランティア同士の交流の場を提供するとともに、アドバイザーを配置して情報提供及び相談に応じた。 開設日数 61 日【67 日】 来場者数 延べ 267 名【277 名】 場所 文化福祉会館 2 階 16 号室 (1 月から市役所福祉棟 2 階)	概ね計画通りに事業を実施できた。
② ボランティア相談の受付 ボランティア及びボランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティアを必要とする施設・団体・個人とボランティア団体・個人のマッチングをした。 相談件数 469 件【516 件】	
③ ボランティア研修の開催 ア 音訳ボランティア講習会 視覚障害者への情報提供の手段として、書かれた文字を音声に訳すボランティアを養成する講習会を年間 21 回開催した。 参加延べ人員 79 名【87 名】	
イ ボランティア講座 ・講座の開催 3 月 16 日 防府市創業・交流センター 参加人員 18 名【19 名】 ・講師の派遣 1 月 19 日 防府市手話奉仕員養成講座 ルルサス防府 派遣人員 1 名	
④ ボランティア団体・個人の活動支援 ア ボランティアセンター登録の実施 ・団体 35 団体【35 団体】 ・個人 103 名【104 名】	
イ ボランティア活動等保険への加入促進 加入取扱件数	

・ボランティア活動保険 3,502 名 【3,590 名】 ・ボランティア行事用保険 121 件 【136 件】 ・福祉サービス総合補償 9 件 【11 件】 事故取扱件数 ・ボランティア活動保険 3 件 【 3 件】 ・ボランティア行事用保険 3 件 【 0 件】 ・福祉サービス総合補償 0 件 【 1 件】 ⑤ 収集ボランティア活動の強化 社協だより及び協働情報紙に、エコキャップ・古切手の収集に関する情報を掲載するとともに、小中学校の校長会において活動実績等の説明及び協力要請を行った。	
--	--

(2) 協働の推進

事業報告	評 価
① 協働情報紙「まなぼら」の発行 防府市生涯学習課、防府市市民活動支援センター及び本会（ボランティアセンター）が協働でボランティア及び生涯学習等についての情報紙を作成した。 発行回数 年 4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）発行 発行部数 1,750 部/回 ② ボランティア行事への参加協力 防府市生涯学習課が主催する生涯学習フェスティバルに本会から職員 1 名が委員と参画した。 ③ 地域における福祉教育の推進 ア 福祉体験学習への支援 福祉体験学習（総合的な学習の時間）におけるゲストティチャーの派遣支援 ・点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験 （市内 6 小学校） 中関、牟礼、新田、華浦、華城、玉祖 ・手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験 及び手話体験（市内 8 小学校） 中関、新田、牟礼、華浦、西浦、向島、華城、玉祖 ・福祉体験学習（総合的な学習の時間）における職員の派遣 総合的な学習（市内 1 校）牟礼南	概ね計画通りに事業を実施できた。

・車いす体験及びアイマスク体験（市内 13 小学校） 右田、牟礼南、華城、華浦、佐波、松崎、西浦、小野、 新田、大道、牟礼、向島、玉祖 イ 防府市青少年ボランティア推進委員会への協力 ボランティアコーディネーターが委員として参加し、助言・福祉ボランティア活動の紹介などを行った。 ④ 企業等社会貢献活動の推進 ア 企業ボランティア活動促進モデル事業所※の支援 企業に対し、どのようなボランティア活動があるかなどの情報提供を行うとともに、企業ボランティアモデル事業所を企業、団体及び市民に周知した。 モデル事業所 全 17 事業所 うち令和 6 年度新規指定企業（2 件） ・明治安田生命保険相互会社徳山支社防府営業所 ・山口待機株式会社 ※社会貢献活動や従業員の行うボランティア活動への支援などを積極的に行う企業を山口県が指定 ⑤ ボランティア推進機関との連携及び活動支援 ア 防府市市民活動支援センター、防府市生涯学習ボランティア相談コーナー等との連携 3 者が連携して協働情報紙「まなぼら」を発行した。 イ 特定非営利法人（NPO 法人）との連携及び活動支援 社協だよりにおいて、団体会員となった NPO 法人の活動を紹介した。 ウ 防府ボランティア連絡会との連携及び活動支援 ・例 会 原則として毎月第 1 木曜日 参加人員 1 名 ・行 事 10 月 13 日 防府ボランティアのつどい 防府市創業・交流センター 参加人員 38 名 ⑥ 災害ボランティア活動の支援 災害が発生していない平常時から「被災者」と「ボランティア」をつなぐセンター運営のため、県社協の主催する県内社協合同の研修会に参加した。 7 月 12 日 第 1 回県社協ボランティア担当研修会 山口市 参加人員 2 名	
--	--

⑦ 県内連携による災害ボランティアセンター運営に向けた I C T の活用 全国の被災地の状況を確認し、現在の災害ボランティアセンター運営に関する基礎的な知識や被災地で活用されている I C T の状況を把握するため、研修会へ参加した。 12 月 13 日 山口県災害ボランティアセンター運営者養成研修会 山口市 参加人員 2 名 ⑧ 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座の開催 災害が発生していない平常時から「被災者」と「ボランティア」をつなぐセンター運営のため、ICT 等も活用した設置・運営や地域活動状況を確認する講座を開催した。 6 月 20 日 防府市文化福祉会館 演題 「全国の被災地支援について」 講師 山口県社会福祉協議会 演習 携帯電話やタブレットを活用した受付体験 〃 被災地情報を確認・活動報告の入力体験 参加人員 74 名	
--	--

(3) 組織基盤の強化

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
① ボランティア団体への助成 防府市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図るため、ボランティア団体への助成を行った。 ボランティア活動基本助成 8 件【10 件】 ② 24 時間テレビ「愛は地球を救う」への協力 市内 5 校の高校生、市内 1 校の短大生、市内 1 校の専門学校生のボランティアが街頭募金等を実施した。 9 月 1 日 街頭募金 イオン防府店 参加人員 59 名【66 名】	概ね計画通りに事業を実施できた。

【生活支援部門】

1 生活支援事業

3,516,290 円

住民の参加による各種福祉サービス等の実施に向け、地域における相談や援助活動を行った。

(1) 福祉総合相談事業

事業報告（※【】：前年度実績）					評 価
① 福祉総合相談の開催					概ね計画どおり開催することができた。
相談区分	担 当	開設日数	相談人数	相談件数	
心配ごと相談	相 談 員	244 日 【243 日】	59 名 【38 名】	63 件 【37 件】	相談区分によっては、相談人数のばらつきが大きい。 全ての相談で相談人数が増加した。 当日の待ち時間の短縮と、申込フォームから24時間予約申込が可能となり、市民の利便性の向上につながった。
労働・年金相談	社会保険 労 務 士	12 日 【11 日】	7 名 【 2 名】	7 件 【 2 件】	
司法書士相談	司 法 書 士	22 日 【21 日】	162 名 【95 名】	144 件 【83 件】	
弁 護 士 相 談	弁 護 士	24 日 【24 日】	192 名 【146 名】	194 件 【126 件】	
合 計		延べ302 日 【299 日】	420 名 【281 名】	408 件 【248 件】	
・相談業務取扱件数					
(心配ごと相談、労働・年金相談、司法書士相談、弁護士相談)					
種 別	専門相談員 取扱件数	種 別	専門相談員 取扱件数		
生 計	7【5】	人 権 ・ 法 律	40【21】		
年 金	0【2】	財 産	175【96】		
職 業 ・ 生 業	5【1】	事 故	10【8】		
住 宅	55【25】	児童福祉・母子保健	0【0】		
家 族	36【21】	教 育 ・ 青 少 年	0【0】		
結 婚	0【3】	心身障害者福祉	0【0】		
離 婚	17【18】	母子福祉・父子福祉	1【0】		
健 康 ・ 衛 生	0【0】	老 人 福 祉	2【1】		
医 療	3【2】	苦 情	0【0】		
精 神 ・ 衛 生	0【0】	そ の 他	57【45】		
合 計		408【248】			
上記のうち解決したもの				315【183】	
継 続 指 導 中 の も の				15【0】	
他機関に紹介・その他				78【65】	

新② 司法書士相談・弁護士相談の受付における予約制の導入 相談の多い法律相談について、当日の抽選から事前予約による抽選制に変更するとともに、電話、メール、FAX に加え、ホームページ上の申込フォームからの受付を開始した。 ③ 福祉総合相談窓口の広報啓発活動の推進 社協だよりやホームページにおいて、広く周知を図った。	
---	--

(2) 有料在宅福祉サービス事業

事業報告 (※ 【 】 : 前年度実績)	評 価
家事援助を中心とした住民参加型(会員制)の本事業を実施することで、支援が必要な高齢者世帯や障害者世帯等が住み慣れたところで安心して暮らせるための在宅福祉の支援を行った。 ① 利用会員及び協力会員の募集 ・募集状況 - 登録会員 ・協力会員数 9 名 【10 名】 ・利用会員数 36 名 【31 名】 ・令和 6 年度活動状況 - 実働会員 ・協力会員数 7 名 【6 名】 ・利用会員数 25 名 【23 名】 - 実稼動延べ回数及び延べ時間 ・実稼動延べ回数 779 回 【611 回】 ・延べ時間 1,246 時間 【1,026 時間】 - 支援内容 ・掃除 651 時間 33 分 【530 時間 00 分】 ・食事の支度 148 時間 30 分 【105 時間 45 分】 ・買物 162 時間 22 分 【165 時間 40 分】 ・洗濯 4 時間 20 分 【 2 時間 40 分】 ・話し相手 85 時間 35 分 【 52 時間 05 分】 ・介助 9 時間 40 分 【 20 時間 00 分】 ・その他 184 時間 00 分 【149 時間 50 分】 ② 協力会員研修会等の開催 協力会員の資質やモチベーションの向上を目的に、他事業との合同研修会を開催した。 11 月 29 日 防府市文化福祉会館 参加人員 6 名 【7 名】	協力会員の派遣による在宅福祉サービスを提供できた。 利用会員数及び稼働回数等が増加している一方、協力会員は減少しており、増加するニーズへの対応が課題となっている。

③ 広報啓発活動の実施 ホームページ、市の広報物等に事業内容を掲載し、広く周知を図るとともに、福祉関係者をはじめ関心を持つ方への説明等を行った。	
---	--

(3) 福祉車両貸出事業

事業報告 (※ 【】 : 前年度実績)	評 価
車いす利用者等の人々が日常生活を営むうえで、生活圏域の拡大や自立と社会参加の促進を図るために必要な手段として、福祉車両の貸出を行った。 貸出車両 トヨタラクティス、マツダフレアワゴン 貸出件数 6 件 (走行実績 127 k m) 【16 件 (走行実績 493 k m)】	例年に比べて問合せは増加したものの、貸出は減少した。

(4) 生活福祉資金の受付

事業報告 (※ 【】 : 前年度実績)	評 価
山口県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付制度に関して、低所得者、障害者及び高齢者世帯からの相談等を受けるとともに、業務に関する研修会に参加した。 ・生活福祉資金の貸付 相談件数 231 件 【357 件】 貸付件数 総合支援資金 0 件 【 0 件】 教育支援資金 0 件 【 1 件】 福祉資金 4 件 【 11 件】 不動産担保型生活資金 0 件 【 0 件】 計 4 件 【 12 件】 ・臨時特例つなぎ資金の貸付 相談件数 0 件 【 1 件】 貸付件数 0 件 【 0 件】 ・研修会等への参加 貸付事業新任担当者研修会 (山口市) 参加人員 2 名 貸付フォローアップ研修会 (WEB) 参加人員 2 名	自立相談支援センターと連携を図りながら貸付することにより、自立を促進できた。

2 権利擁護事業

9,871,748 円

専門員、推進員、生活支援員等が協力し、日常生活上の判断が十分できない人や日常生活に不安のある人が、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理等を支援した。

(1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
①日常生活自立支援事業の利用促進 ア 相談者及び利用者への支援 ・専門員、推進員、生活支援員の設置 - 専門員 3 名【2 名】 - 推進員 1 名【2 名】 - 実稼動生活支援員 12 名【14 名】 ・活動実績 ・相談件数 - 問合せ 36 件【29 件】 - 初回相談 30 件【24 件】 - 相談援助 4,834 件【4,073 件】 ・日常的な金銭管理サービス 52 件【47 件】 （うち書類等預かりサービス 42 件【33 件】） イ 地域住民及び関係機関等への周知 地域包括支援センター及び民生委員・児童委員にパンフレットを配布し説明を行った。 ウ 必要に応じたケース会議等の実施 ケース会議において、利用者を取り巻く状況や発生した課題に対して、利用者の意思を尊重した上で、地域生活課題を共有し、関係者同士で支援の方向性を共有した。 エ 専門員、推進員及び生活支援員の資質向上 ・専門員会議 12 月 19 日（第 1 回） - 山口県社会福祉会館 参加人員 1 名 3 月 13 日（第 2 回） - 山口県社会福祉会館 参加人員 2 名 ・専門員・推進員・生活支援員研修会等 6 月 13 日 - 山口県日常生活自立支援事業新任担当者研修会 - 山口県社会福祉会館 参加人員 2 名	利用者の意思の尊重と利益の保護のため、利用者と共に考え、各関係機関と連携して支援した。自宅訪問などアウトリーチを積極的に行うことで個別支援（訪問、電話、手続き等）の充実を図ることができた。

11月29日 現任生活支援員研修会 防府市文化福祉会館 参加人員 9名 演題「年金の基礎知識と高齢者や障害者が抱える年金の悩みについて」 講師 山口年金事務所 副所長 松藤竜二 氏	
--	--

(2) 法人成年後見受任事業

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
親族による後見を受けられず、経済的な事情から他の後見人を得られない人のために財産管理や身上監護の後見業務を行った。 ① 法人成年後見の受任 ・新規問合せ 1件【0件】 ・受任件数 6件【6件】 - 新規 1件【0件】 - 終了 1件【0件】 ・後見業務回数 415回【411回】 ② 法人成年後見受任事業の利用促進 防府市地域包括支援センターと連携を深めた。成年後見の申立ての相談を受けて法人後見人として受任できることを教示した。 ③ 関係機関との協力体制の構築 法人成年後見人として新規受任者の関係調整等円滑な支援ができるよう関係機関との協力体制の関係づくりに努めた。 ④ 法人成年後見支援センター（山口県社会福祉協議会）との連携 2月20日 成年後見制度法人後見推進研修会 山口市 参加人員 1名	後見人等として財産管理や身上監護の後見業務を毎月行い、被後見人等の意向に添った支援ができた。

(3) 防府市成年後見センターの運営（中核機関）

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
① 成年後見制度の広報・啓発 成年後見センターについて、ホームページ、社協だより及び市広報で広く周知するとともに「ふれあい・いきいきサロン」（2か所）や放課後等デイサービス（1か所）で説明した。 また、認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない人が地域で安心して暮らせるよう成年後見制度の利用促進を図ることを目的として、市民向けのセミナー及び相談会を開催した。 9月27日 防府市成年後見利用促進セミナー・相談会	成年後見を必要とする人が制度を適切に利用できるような制度の周知や相談の受付など中核機関としての運営を行うことができた。

防府市文化福祉会館 参加人員 セミナー 40 名【60 名】
相談会 2 組【6 組】

② 成年後見に関する相談受付

市民や福祉関係者からの成年後見に関する相談を受け、支援調整を行うとともに、成年後見制度を利用するための手続きや申立に関する情報提供を行った。また、今年度から「申立て支援」を行った。

相談件数 677 件【244 件】

③ 支援方針会議の運営

中核機関へ直接相談に入ったケースや地域包括支援センター、行政に相談があったニーズの中から支援関係者、専門職などの参加により現状把握、ニーズや課題などアセスメントにより支援方針の検討を行った。

また、今年度から適切な後見人等候補者が選出されるよう、受任調整を行う体制を整えた。

全 7 回 検討案件 延べ 15 件

④ 成年後見制度利用促進機能

研修名	日数	人数
成年後見制度利用促進体制整備研修 (基礎研修・K-1) (WEB)	1	2
モデル事業実施自治体等第 2 回連絡会 (WEB)	1	3
総合的な権利擁護支援策に関する研修 (WEB)	1	2
山口県成年後見制度利用促進協議会 (WEB)	1	2

⑤ 先進地視察

センターの周知に伴い、各機関からの相談や本人申し立て案件による相談件数が増加し、個別の相談対応や情報提供を重視したため、先進地視察に至らなかった。

3 生活困窮者自立支援事業

12,806,619 円

生活保護に至る前の段階の自立支援策を強化するために平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づいて、市からの委託を受けて防府市自立相談支援センターを運営して事業を実施した。

(1) 防府市自立相談支援センターの機能充実

事業報告（※【】：前年度実績）			評 価																																										
① 自立相談支援センター及び制度の周知 広報紙「社協だより防府」や社協ホームページにて事業内容や住居確保給付金など各種制度について掲載した。また、啓発チラシをリニューアルし、これまでの設置先はもちろん、銭湯やネットカフェなど新規に設置個所を増やし周知に努めた。			広報紙やホームページ等を見て、相談につながるケースが多く見られ、国が示す目安を達成することができた。																																										
② 自立相談支援事業の実施 ・相談実績等 <table><tr><td>相談件数</td><td>10,423 件【11,012 件】</td></tr><tr><td>相談者数</td><td>240 名【235 名】</td></tr><tr><td>登録者数</td><td>60 名【61 名】</td></tr><tr><td>支援決定数</td><td>72 名【78 名】（プラン策定者）</td></tr><tr><td>就職者数</td><td>38 名【23 名】</td></tr></table> ・相談体制を構築するため、職員を研修会に派遣した。 <table><thead><tr><th>研修名</th><th>日数</th><th>人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>生活困窮者自立支援事業従事者意見交換会（WEB）</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>家計改善支援事業従事者養成研修（WEB）</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>福祉総合相談窓口チームリーダー会議（市役所）</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>支援ツール活用セミナー（WEB）</td><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td>令和6年度ひきこもり支援研修（WEB）</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>相談支援員初任者研修（国）（大阪府）</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>相談支援員初任者研修（県）（山口市）</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>一時生活支援員従事者養成研修（WEB）</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>生活困窮者自立支援事業研修会（山口市）</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>社協職員オンラインサロン（WEB）</td><td>1</td><td>4</td></tr></tbody></table>				相談件数	10,423 件【11,012 件】	相談者数	240 名【235 名】	登録者数	60 名【61 名】	支援決定数	72 名【78 名】（プラン策定者）	就職者数	38 名【23 名】	研修名	日数	人数	生活困窮者自立支援事業従事者意見交換会（WEB）	1	2	家計改善支援事業従事者養成研修（WEB）	2	1	福祉総合相談窓口チームリーダー会議（市役所）	1	2	支援ツール活用セミナー（WEB）	2	4	令和6年度ひきこもり支援研修（WEB）	1	1	相談支援員初任者研修（国）（大阪府）	2	1	相談支援員初任者研修（県）（山口市）	2	2	一時生活支援員従事者養成研修（WEB）	2	1	生活困窮者自立支援事業研修会（山口市）	1	2	社協職員オンラインサロン（WEB）	1
相談件数	10,423 件【11,012 件】																																												
相談者数	240 名【235 名】																																												
登録者数	60 名【61 名】																																												
支援決定数	72 名【78 名】（プラン策定者）																																												
就職者数	38 名【23 名】																																												
研修名	日数	人数																																											
生活困窮者自立支援事業従事者意見交換会（WEB）	1	2																																											
家計改善支援事業従事者養成研修（WEB）	2	1																																											
福祉総合相談窓口チームリーダー会議（市役所）	1	2																																											
支援ツール活用セミナー（WEB）	2	4																																											
令和6年度ひきこもり支援研修（WEB）	1	1																																											
相談支援員初任者研修（国）（大阪府）	2	1																																											
相談支援員初任者研修（県）（山口市）	2	2																																											
一時生活支援員従事者養成研修（WEB）	2	1																																											
生活困窮者自立支援事業研修会（山口市）	1	2																																											
社協職員オンラインサロン（WEB）	1	4																																											
ア 地域のネットワークの構築 自立相談支援事業支援調整会議の開催 <table><tr><td>毎月第4木曜日</td><td>防府市</td><td>参加人員</td><td>11 名</td></tr></table> 防府地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 <table><tr><td>5 月 27 日</td><td>ハローワーク</td><td>参加人員</td><td>2 名</td></tr></table>			毎月第4木曜日	防府市	参加人員	11 名	5 月 27 日	ハローワーク	参加人員	2 名	※国目安 10 万都市の場合 相談者数 16 人/月 登録者数 8 人/月 ※防府市 10 万人当たり 相談者数 17.8 人/月 国目安は達成 登録者数 4.5 人/月 国目安は未達成 防府市の人口 11.22 万人 （令和7年3月末日）																																		
毎月第4木曜日	防府市	参加人員	11 名																																										
5 月 27 日	ハローワーク	参加人員	2 名																																										
イ 支援終了者への重点的フォローアップの実施																																													

防府市自立相談支援センター過去利用者等に対して、訪問・電話による現況確認を実施した。 アウトリーチ実施件数 35 件 【 201 件】 再相談実施件数 7 件 【 21 件】 再支援決定数 1 名 【 8 名】 ③ 住居確保給付金の支給 相談件数 199 件 【118 件】 申請件数 10 件 【 5 件】 決定件数 10 件 【 4 件】 ④ 一時生活支援事業の実施 支援者数 9 名 (9 件) 【11 名 (11 件) 】 利用期間 1 泊 2 日 2 名 【9 名】 2 泊 3 日 1 名 【2 名】 3 泊 4 日 4 名 【0 名】 4 泊 5 日 1 名 【0 名】 7 泊 8 日 1 名 【0 名】 ⑤ 家計改善支援事業の実施 支援者数 19 名 【14 名】 弁護士相談実績 4 件 【3 件】 ⑥ 就労訓練事業の推進 近隣の認定就労訓練事業所と連携し、就労のきっかけをつかめるよう支援することにより、直ちに一般就労が困難な人に対して、就労の機会を提供するように努めた。 ⑦ 住宅確保の推進 市内の不動産会社や生活困窮者支援を実施している N P O 法人、寮がある企業などと連携し、入居困難者の住居確保に取り組んだ。また、山口県社会福祉協議会が実施する意見交換会に参加し、これからの居住支援について情報収集を実施した。	
---	--

(2) 生活困窮者に対する支援

事業報告（※【】：前年度実績）		評 価												
① 無料職業紹介事業の推進 防府市自立相談支援センターとして職業紹介事業を行った。 就職実績 <table><tr><th>種別</th><th>区分</th><th>紹 介 数</th><th>就職者数</th></tr><tr><td rowspan="2">軽作業 雑 役</td><td>男</td><td>2【1】</td><td>2【1】</td></tr><tr><td>女</td><td>0【0】</td><td>0【0】</td></tr></table>		種別	区分	紹 介 数	就職者数	軽作業 雑 役	男	2【1】	2【1】	女	0【0】	0【0】	職業紹介や食料支援など生活困窮者への支援を行うことができた。	
種別	区分	紹 介 数	就職者数											
軽作業 雑 役	男	2【1】	2【1】											
	女	0【0】	0【0】											
② 食料支援の体制づくり（フードバンク） アルク防府店及び新庁舎内のアルク E X 店に設置されたフードバンクポストを活用するとともに、フードバンクほうふステーション、フードバンク山口及び公益社団法人日本非常食推進機構と連携を図り、各団体から提供される備蓄食料の提供を受けて生活困窮者へ食糧の提供をしている。また、食料支援活動について、社協だよりで広報して周知を図った。														

4 高齢者能力開発情報センター事業

0 円

高齢者の能力の開発や向上を図るため、各種相談に応じるとともにその能力に応じた就労斡旋の機会の確保及び高齢者の生きがい対策に資するために職業紹介を行った。

(1) 就労斡旋事業及び福祉情報等サービス事業の推進

事業報告	評 価
求人の開拓、事業の啓発及び高齢者に関する情報等を社協だよりに掲載して啓発した。	周知により求職相談につながった。

(2) 高齢者無料職業紹介所事業の推進

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価											
65 歳以上の高齢者へ就労の場を提供した。 就職実績 <table><tr><th>種別</th><th>区分</th><th>紹 介 数</th><th>就職者数</th></tr><tr><td rowspan="2">軽作業 雑 役</td><td>男</td><td>9【11】</td><td>3【4】</td></tr><tr><td>女</td><td>0【0】</td><td>0【0】</td></tr></table>	種別	区分	紹 介 数	就職者数	軽作業 雑 役	男	9【11】	3【4】	女	0【0】	0【0】	例年のイベント等が再開されたことで、短期の求人があった。 常勤の求人がないことから求職者数も少なかった。
種別	区分	紹 介 数	就職者数									
軽作業 雑 役	男	9【11】	3【4】									
	女	0【0】	0【0】									

5 資金貸付事業

60,000 円

資金の貸付を通して経済的な自立を図ることによって、安定した生活ができるよう支援した。

(1) 小口福祉資金の貸付

事業報告（※【】：前年度実績）		評 価
低所得世帯が様々な事情により不時の出費が必要となった場合に貸付を行った。		貸付により、一時的な出費に対応でき、民生委員につなげることにより見守り体制ができた。
・相談件数	46 件【138 件】	
・貸 付 件 数	3 件【 7 件】	
金 額	60,000 円【190,000 円】	
・償 還 件 数	6 件【35 件】	
金 額	93,726 円【252,500 円】	

(2) 生活安定対策資金の貸付

事業報告		評 価
低所得世帯等に対し、経済的な自立を図ることを目的に必要な資金を貸し付けることにより、その経済的な自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるようにすることを目的としている。		貸付と生活困窮者自立支援制度が連携して対応することにより、自立促進が図れるよう、効果的な支援に努めた。
・相談件数	0 件【 0 件】	
・貸 付	0 件【 0 件】	
・償 還	0 件【 0 件】	

【共同募金事業】

15,634,539 円

1 一般共同募金配分金事業

山口県共同募金会からの配分金により、高齢者、障害者・児、児童・青少年福祉及び福祉育成・援助活動等に対し、次の事業を実施した。

(1) 老人福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
① 敬老会の支援 再掲 P. 20 (老人福祉事業)	

(2) 障害者・児福祉活動事業の推進

事業報告 (※ 【】 : 前年度実績)	評 価
① 新規身体障害者手帳取得者及び新規療育手帳取得者の支援 65 歳未満の身体障害者手帳 1 級取得者及び療育手帳取得者の新規取得時に支援金を支給した。 対象者数 32 名 【24 名】	障がい者の社会参加促進のための事業を計画通りに推進することができた。
新② 障害者スポーツ振興事業の支援 防府市ふうせんバレーボール大会及び防府市障害者親睦卓球大会への助成を行った。	
③ 障害児童・生徒の卒業記念品贈呈 2 月 20 日 卒業記念品贈呈式 小学校卒業生 (目覚時計) 51 名 【60 名】 中学校卒業生 (腕時計) 46 名 【45 名】	
④ 障害者福祉啓発セミナーの開催 再掲 P. 16 (地域福祉活動推進事業)	

(3) 児童・青少年福祉活動事業の推進

事業報告 (※ 【】 : 前年度実績)	評 価
① 新生児の支援 再掲 P. 22 (児童福祉事業)	子育て家庭を支援する事業を推進できた。
② 海水浴場へ救急薬品贈呈 海開きにあたり、富海、野島の海水浴場へ救急薬品を贈呈した。	
③ 小学校新入学児童のお祝品贈呈 再掲 P. 22 (児童福祉事業)	
④ 赤い羽根共同募金のイラストコンテストの開催	

赤い羽根共同募金の周知・啓発を図るため、市内 12 か所に設置する募金箱のイラストを募集した。 応募総数 48 作品【57 作品】	
--	--

(4) 福祉育成・援助活動事業の推進

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
① 地区社会福祉協議会活動への支援 市内全地区に、輪づくり運動推進費の地域福祉活動強化事業費として助成した。	地域福祉活動の充実を図ることができた。
② 被災世帯の支援 火事見舞いを支給した。 6 件（全焼 6 件）【5 件（全焼 2 件、半焼 3 件）】	
③ 生活困窮者支援事業 緊急に必要な資金を支給した。 9 件【12 件】	
④ 団体活動の支援 ・地域自治会連合会へ自治会福祉部活動推進のための助成 ・地区民生委員児童委員協議会研修のための助成	
⑤ 広報活動の拡充 共同募金の取組状況や地域福祉活動報告について、社協だより及びホームページ掲載記事を増やすとともに、市民の利便性向上のため、オンラインで予約受付が可能となるシステムを導入するホームページの改修を行った。	
新⑥ 福祉教育の支援 再掲 P. 24（ボランティアセンター事業）	
新⑦ 防府市文化福祉会館感謝イベントの開催 再掲 P. 18（地域福祉活動推進事業）	

(5) ボランティア活動育成事業の推進

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
① 夏休みボランティア体験の開催 ワークキャンプ（社会福祉施設ボランティア体験）の開催 7 月 30 日 障害児入所施設 はなのうら 参加人員 2 名	体験会等のイベントを通じて、ボランティアの意義等について考える場を提供することができた。

② 夏休み親子福祉体験教室の開催 障がいのある方への配慮やちょっとした手助けの方法を知ることがを目的に「親子で車椅子やアイマスク体験教室」を開催した。 参加人員 52 名 ③ ボランティアコーナー運営事業 再掲 P.23 (ボランティアセンター事業) ④ 市民手話講習会の開催 手話の入門編として、市民手話講習会を開催した。 ・ 昼の部 2 月 12 日～3 月 19 日 (6 回) - 防府市創業・交流センター 参加延べ人員 60 名【63 名】 ・ 夜の部 1 月 31 日～3 月 6 日 (6 回) - 防府市創業・交流センター 参加延べ人員 72 名【81 名】 新⑤ 災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座 再掲 P.26 (ボランティアセンター事業)	
---	--

2 歳末たすけあい配分金事業

山口県共同募金会から、歳末たすけあい運動による募金の配分金を受けて、次の事業を実施した。

(1) 生活困難世帯の支援

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
生活困難世帯（生活保護世帯を除く）に対して、義援金を配付した。 96 世帯【96 世帯】	生活困窮者を支援することができた。

(2) 児童養護施設の支援

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
児童福祉施設入所児と退所する児童に対して、義援金を配付した。 市内社会福祉施設入所児童 58 名【61 名】 児童養護施設退所児 4 名【4 名】	児童養護施設入所児等を支援することができた。

(3) 地域の居場所、孤立防止のつながり活動の支援

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
クリスマス会、忘年会及び新年会を兼ねて開催されるふれあい・いきいきサロンに対し、市内共通商品券を配付した。 97 か所【91 か所】	サロンの活性化に寄与することができた。

(4) 地域福祉活動の支援

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
在宅ひとり暮らし高齢者等に対し、地区の特性を生かした事業を歳末の時期に展開してもらえるよう地区社会福祉協議会の事業活動に資金を配分した。 各地区においては、配分金を活用し、民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、地元の小学生で対象者へ福祉弁当やごみ袋、カレンダー、みかんなどを配った。 14 地区社会福祉協議会【15 地区社会福祉協議会】 対象者 8,323 名【8,403 名】	地区社協が実施する歳末たすけあい運動を支援し、地域の見守りや支え合いの活動を促進した。

(5) ひとり親世帯の受験生支援

事業報告（※【】：前年度実績）	評 価
大学、専門学校等の受験生を持つひとり親世帯の方へ、入学検定料の補助を行った。 申請者 11 名【18 名】	物価高騰など出費の嵩む時期に受験生を持つひとり親世帯への支援ができた。

【団体事務受託業務】

(1) 防府市民生委員児童委員協議会事務局

事業報告	評 価
理事会等の開催 ・ 定例理事会の開催 偶数月の第 1 水曜日 ・ 部会等の開催 部会（高齢者、障害者、児童福祉部会）の研修会、情報交換会等の支援をした。 6 月 25 日 児童福祉部会研修会 「ほうふっ子の未来に向けて」 参加人員 76 名 8 月 20 日 障がい者福祉部会研修会 「改正障害者差別解消法について」 参加人員 87 名 10 月 18 日 高齢者福祉部会研修会 「認知症について」 参加人員 89 名 防府市民生委員児童委員新任研修会の開催 2 月 18 日 防府市 参加人員 12 名 研修会等へ職員引率等 7 月 19 日 現任民生委員・児童委員研修会 山口市 参加人員 20 名 9 月 3 日 市町地区民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会 山口市 参加人員 34 名 9 月 27 日 中堅民生委員・児童委員研修会 山口市 参加人員 26 名 11 月 8 日 民生委員・児童委員活動実践講座 山口市 参加人員 1 名 3 月 6 日 児童委員・主任児童委員研修会 防府市（WEB） 参加人員 42 名 視察研修受け入れ 10 月 9 日 福岡県行橋市民児協 25 名	協議会の事務を受託することで活動を支援した。

(2) 山口県共同募金会防府市共同募金委員会事務局

事業報告	評 価
運営委員会の開催 4月25日 ・令和6年度地域福祉活動助成最終審査について ・運営委員の選任について ・審査委員の選任について ・令和5年度収支決算について ・監査報告 ・令和6年度事務費収支予算(案)について 9月26日 ・運営委員の選任について ・審査委員の選任について ・令和7年度配分の助成事業について ・共同募金運動及び歳末たすけあい運動の実施について 審査委員会の開催 7月 9日 ・共同募金地域福祉活動助成（B配分）審査について ・地域歳末たすけあい募金助成（C配分）審査について 2月27日 ・共同募金運動及び歳末たすけあい運動の結果報告について ・共同募金地域福祉活動助成最終審査について 監査会の開催 4月13日 ・令和5年度事業及び会計監査 共同募金活動の推進 ① 各種募金活動の推進 ② 各地区共同募金委員会活動の支援 ③ 募金の集計及び管理 災害見舞金（義援金）の受付	共同募金運動が円滑に進むよう、適正な事務局運営を行った。

3 防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会（幸せますふくしネット）事務局

事業報告	評 価
再掲 P. 16（地域福祉活動推進事業）	